

2019年春期(第164回)講演大会記録

2019年春期講演大会は、3月20日から22日の期間、東京電機大学東京千住キャンパスにおいて開催した。

- 3月20日(9:00~9:40) 開会の辞、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS代表紹介、各賞贈呈式(1号館丹羽ホール)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演、本多記念講演(1号館丹羽ホール)
- (13:00~16:45) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、外国人特別講演(2号館)
- (15:00~17:00) ポスターセッション(2号館5階)
- (18:00~20:00) 懇親会(1号館100周年ホール)
- 3月21日(9:00~17:25) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、TMS Young Leader International Scholar講演、共同セッション(2号館, 5号館)
- (12:05~12:45) 企業ランチョンセミナー(2号館)
- 3月22日(9:00~16:25) 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション(2号館)
- (11:00~18:30) 企業説明会・交流会
- 3月20日~3月22日 総合受付、金属組織写真展示(1号館1階)
付設機器・カタログ展示会(2号館1階)

開会の辞

杉本論会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月20日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Sung-Joon Kim 会長が来日し挨拶した。



開会の挨拶：杉本会長。日本語でご挨拶された Kim 会長。

TMS 代表紹介(3月20日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMSから第14回 Young Leader International Scholarとして来日した代表者 Fadi Abdeljawad 氏が紹介された。

贈呈式(3月20日)

杉本論会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

- 第64回学会賞贈呈式 中嶋英雄君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。(受賞者；本誌235頁)
- 第60回技術賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌236頁)。
- 第69回金属組織写真賞贈呈式 優秀賞3件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌236頁)(作品；本誌248頁)。
- 第50回研究技術功労賞贈呈式 11名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌238頁)。
- 第77回功績賞贈呈式 9名(物性部門2名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門1名、材料プロセッシング部門2名、工業材料部門1名、工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌240頁)。

第58回谷川・ハリス賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者；本誌242頁)。

第25回増本量賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者；本誌242頁)。

第30回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者；本誌243頁)。

名誉員推戴式 新名誉員2名に対し推薦状ならびに名誉員章贈呈(受賞者；本誌244頁)。

第2回フェロー認定式 新しくフェローに認定された1名に対し認定証贈呈(受賞者；本誌243頁)。

第64回学会賞受賞記念講演(3月20日)(本号252頁)

「材料の一方方向性多孔質化と機能」

若狭湾エネルギー研究センター所長、大阪大学名誉教授 中嶋英雄 君

第64回本多記念講演(3月20日)(本号261頁)

「材料研究における電子顕微鏡法の導入と発展」

名古屋大学名誉教授 黒田光太郎 君



受賞者の皆様です。おめでとうございます！



学会賞：中嶋先生によるご講演。本多記念講演：黒田先生によるご講演。

懇親会(3月20日)

1号館100周年ホールにおいて日本鉄鋼協会と合同で開催(参加者は265名、本会への申込者・招待者105名)。

- | | |
|----------------|---------------|
| 開会の辞・司会 | 東京電機大学教授 柳田 明 |
| 来賓挨拶 | 東京電機大学学長 安田 浩 |
| 日本金属学会会長 | 東北大学教授 杉本 論 |
| 日本鉄鋼協会副会長挨拶・乾杯 | 東北大学教授 古原 忠 |
| 懇 談 | |
| 閉会の辞 | 東京電機大学教授 柳田 明 |

大会参加者 1,273名(一般729名、学生員340名、非会員一般65名、非会員学生33名、相互聴講106名)

学術講演会(3月20日~22日)

最終講演件数678件

欠講2件(公募シンポジウム講演S6.6、ポスターセッションNo.P2)

学会賞受賞記念講演1件、本多記念講演1件

公募シンポジウム講演7テーマ130題(基調講演35題、応募講演92題、功績賞受賞講演1題、増本量受賞講演1題、谷川・ハリス賞受賞講演1題含む)

企画シンポジウム講演3件(基調講演3題)

一般講演386題(功績賞受賞講演8題、技術賞受賞講演3題、谷川・ハリス賞受賞講演2題、外国人特別講演1題、Young Leader Scholar講演1題含む)

共同セッション17題

ポスターセッション140題

講演会場 16会場 今大会より、一会場アルバイト一名体制で行った。

第32回ポスターセッション(3月20日)(受賞者;本誌244頁)

3月20日15:00~17:00の時間に2号館5階の教室2部屋で140件のポスター発表が行われ、そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている130件の内容・発表について審査が行われた。

一部制(15:00~17:00のみの時間帯)で全ポスター発表を一斉に行った。一般講演は15時で終了としているため、多数の聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

3月21日「優秀ポスター賞」27件が決定し、受賞者を本会ホームページおよび金属学会受付に掲載した。



熱気あふれるポスター発表。



おめでとうございます!

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」21題(金属10題, 鉄鋼11題)は3月20日~21日, 金属学会D会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」10題(金属7題, 鉄鋼3題)は3月21日, 鉄鋼協会第14会場で開催した。

第14回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program (3月21日)

若手研究者の活動の活性化とTMSとの国際交流促進を目的に06年より設けられたJoint JIM/TMS Young Leader International Scholar Programとして、TMSから派遣された代表者 Fadi Abdeljawad 氏が一般講演「粉末・焼結材料」の中で Young Leader International Scholar 講演発表後、座長より賞状が授与された。



Fadi Abdeljawad 氏による講演発表。



吉田座長とご一緒に。

第7回企業ランチョンセミナー(3月21日)

昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら、講演大会参加者に企業の最新の技術情報を聴講いただく、ランチョンセミナーを開催した。

以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い、参加者数は5社で合計204名であった。

参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業)

- ・オックスフォード・インストゥルメンツ㈱
- ・㈱ TSL ソリューションズ
- ・㈱日立ハイテクノロジーズ
- ・ヴァーダー・サイエンティフィック㈱
- ・NISSHA エフアイエス

第11回男女共同参画ランチョンミーティング(3月22日)

「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマに㈱ IHI の高橋円氏が講演を行った。参加者25名



松岡新委員長によるご挨拶。



高橋講師によるご講演。

付設機器・カタログ等展示会(第42回)

機器展示23社24ブース, カタログ展示1社の協力を得た。展示会場は2号館1階1室で開催した。各社のご厚意に感謝いたします。



第5回企業説明会

参加企業44社, 参加学生81名。



託児室

3月20日(水)子供1名, 3月21日(木祝)子供4名, 3月22日(金)子供1名, シッター2名体制のもと支障なく終了した。

【大会雑記】

東京電機大学での開催は初めてとなる。2017年新校舎完成で日本鉄鋼協会同一キャンパスでの開催が可能となった。

講演会場は2号館を使用。同一の建物でまとまっており、また鉄鋼協会の主な講演会場である5号館とも距離が近く、参加者には比較的会場移動がスムーズであった。

今回より講演会場一会場に各一人会場係アルバイトを配置したことで、座長の司会進行がスムーズに行うことができるとの声があり好評であった。

大会最終日に開催した第5回の企業説明会は盛会裡に終了した。また、説明会終了後の企業担当者と参加学生との交流会(立食懇談会)も好評であった。

天候は会期中3日間を通し、春の日差しが暖かな陽気に恵まれ、会期を無事に終了することができた。

東京電機大学の柳田明先生および井尻政孝先生を始めとするお世話頂いたアルバイト学生の皆様、職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始、万端のご配慮をいただき、ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。